

北 秋 水 道 1 1 0 0 2 7

令 和 0 6 年 1 1 月 2 2 日

国土交通大臣 殿

北秋田市長

社会資本総合整備計画の変更について

令和05年11月22日 付け 北秋都110075 で提出した、社会資本総合
整備計画について、別添のとおり変更するので提出する。

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和04年11月22日

計画の名称	北秋田市における良好な水環境の実現（重点計画）【2期】												
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	北秋田市												
計画の目標	生活排水処理構想に基づいた下水道整備を推進することにより、公共用水域の保全と快適で衛生的な生活環境を創造し、良好な水環境の実現を目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,234	A	1,234	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標（定量的指標） 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R3当初）	（R5末）	（R7末）
1	北秋田市の下水道処理人口普及率を55.6%（R3当初）から64.0%（R7末）に増加させる。 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）/総人口（人）×100	56%	64%	64%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	北秋田市	直接	北秋田市	管渠(汚水)	新設	鷹巣処理区実施設計(未普及)	実施設計・地質調査委託	北秋田市						70	-	
		地域種別：過疎																	
	A07-002	下水道	一般	北秋田市	直接	北秋田市	管渠(汚水)	新設	鷹巣処理区管渠整備(未普及)	汚水管 150～250 L=11.2km	北秋田市						991	-	
		地域種別：過疎																	
	A07-003	下水道	一般	北秋田市	直接	北秋田市	管渠(汚水)	新設	米内沢処理区管渠整備(未普及)	施設統廃合 接続管渠L=1.0km	北秋田市						173	-	
		地域種別：過疎																	
											小計						1,234		
											合計						1,234		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

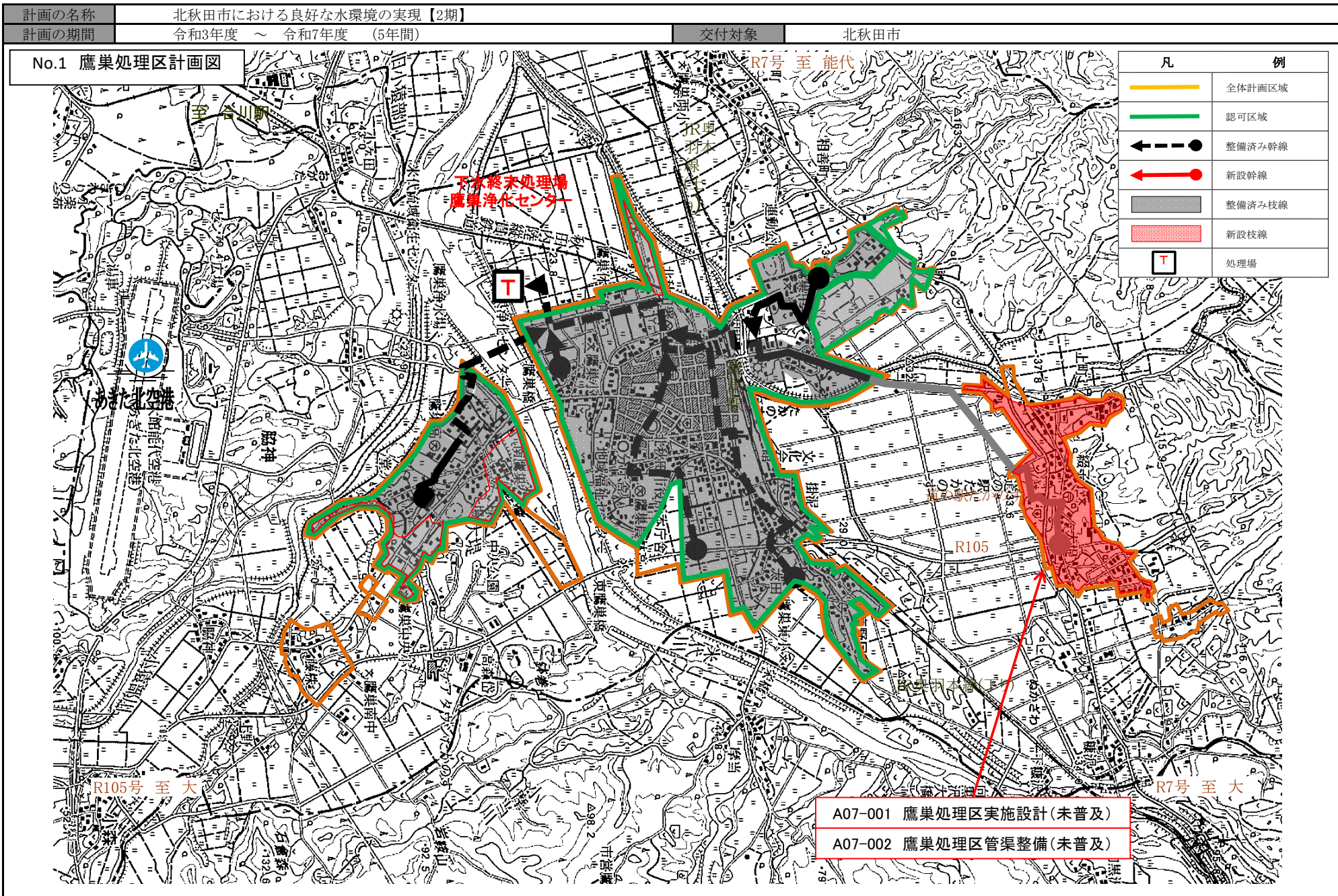
	R03	R04	R05		
配分額 (a)	166	155	125		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	19		
交付額 (c=a+b)	166	155	144		
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0		
支払済額 (e)	166	155	72		
翌年度繰越額 (f)	0	0	72		
うち未契約繰越額(g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 北秋田市における良好な水環境の実現（重点計画）【2期】

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性 1) 計画の目標が上位計画等と適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 3) 関連する機関との調整が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意	

社会資本総合整備計画



社会資本総合整備計画

